



インタビュー

バーチャル投資ゲームで、投資の練習を

1億円を元手に、現実と同じ株式市場や為替市場で運用し、資産を増やすバーチャル投資ゲーム「TRADING DERBY」。

第1回、2回連続で1位を獲得。優勝賞品のBMWを2台ゲットした藤原慶太さん（31歳）にお話をうかがった。—すばらしい成績ですが、やはり、投資関係の仕事をしているのですか？
藤原 今は、デイトレーダーのようなことをしています。学生時代にゴルフに夢中になり、プロゴルファーを目指そうと思っていたのですが、難しかったですね。それで、大学を辞めて、地元密着型のフリーマーケットを主宰するベンチャー企業を興そうと思って、パソコンを買ったんです。そんな時、TRADING DERBYを見つけて、賞品がよかったので、参加しました。

—実際の投資で使うテクニックは？
藤原 チャート（ローソク足）を中心にしています。株は人気投票と同じなので、みんなが手に入る情報から、他

の人より先に将来の値動きを予想するのが、勝つために大事なんです。自分で決めた数値がありまして、チャート上でこれを超えたら売る・買うと決めています。

—どれ位の銘柄を持っていますか？
藤原 店頭公開株を中心に、平均5～6銘柄を常に入れ替えていますね。1つの銘柄は1日～1週間しか持っていません。—投資歴を教えてください

藤原 株式投資を始めたのは、1999年の2月ぐらいです。最初は、よく分からなくて、全然儲けからなかったですね。TRADING DERBYに参加して、たくさん売買の体験をするようになって、だんだん儲かるようになりました。—実際の投資にも役立った？

藤原 はい、とても。株式投資は経験をしないと上手にならないと思います。ゲームなら経験をたくさん積むことができますから、株式投資を始める人にお薦めですね。



株式市場が動き始める8時30分～11時、12時30分～15時までは3台のパソコンに向かい、相場と後場の間には、相場の分析も欠かさないという藤原さん。専らしてパソコンに向かうため、他の時間ではほとんどパソコンは使わないとか



K-zoneが行っている「TRADING DERBY」は第4回のゲームが始まったばかり
http://www.k-zone.co.jp/